

ICT教育ってなに？



ICT教育ってなん？



まず、ICTはInformation and Communication Technologyの略で、ICT教育はパソコンや電子黒板、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育のことだよ！

うきは市では何しよると？



うきは市では・・・



日々の学習

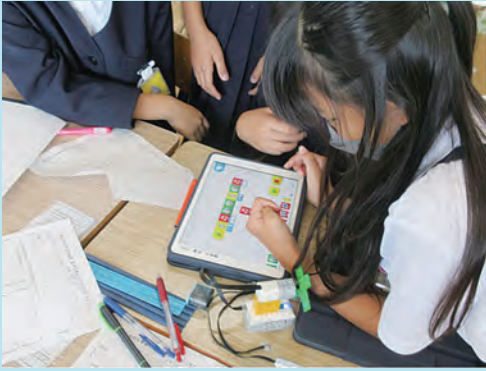
日々の学習では、協働学習ツール(ロイロノートスクール)を使って、学習を進めています。ロイロノートスクールを使うことで、教師と児童・生徒が同じ画面を見ながら学習したり、児童・生徒の解答や意見を集約したりできます。また、お互いの考えを出し合い、思考を深めたり広げたりすることにも活用しています。

さらに、中学校では、動画を活用した学習が多く行われています。

うきは市では、平成28年度から学校にiPadを導入し、ICT教育に取り組んでいます。その効果もあり、うきは市の学力も少しずつ向上し、全国平均を上回ってきています。そして、令和2年度からは全国一斉に始まったGIGAスクール構想に取り組み、本市でも1人1台タブレットが本格的に導入され、高速無線LAN通信整備も行われました。

小・中学校ともに学習での活用、様々な場面でのICT活用をご紹介します。

プログラミング学習



小学校では、タブレット内でのプログラミング学習だけでなく、ロボット教材を使いながら、新たなプログラミング学習も行っています。



ツールを使った学習



オンラインツール(Zoom)を使った学習では、遠く離れた学校の児童・生徒とリアルタイムにやり取りができる環境が整っています。また、外国とのコミュニケーションも行うことができ、貴重な経験となっています。



オンライン配信

コロナ感染拡大防止に伴う学校閉鎖等がいつ起きるか分からない状況があるため、いつでもオンライン学習ができる体制を整え、児童・生徒の学習の遅れがないように準備しています。

また、保護者の参加が制限されたことを受け、中学校では体育祭や文化祭を、小学校では学習発表会等をオンライン配信しています。



さらに、年に数回は各学校の児童・生徒の代表が集まり、それぞれの課題から市全体で取り組む共通の課題づくりや成果について話し合う「児童会・生徒会合同会議」を昨年度からオンラインで行っています。

うきは市は、今後もICTを活用した学習等に先進的に取り組む予定です。

